

小平市議会定例会 一般質問通告書

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 認知症を知って安心して暮らそう

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な内容を項目別に記入してください)

団塊の世代が75歳になる2025年には、全国で認知症の人は700万人になり、65歳以上の5人に1人が認知症になると推計されています。まさに誰でもかかりうる認知症について、認知症サポーター養成講座などを通して初期症状や対応の仕方、予防や治療について学び合い、住み慣れた地域で助け合いながら安心して暮らせるまちづくりが大切です。

当事者が地域で暮らしていくためには住まいが確保され、家族介護者を支援しつつ、本人の意向と生活実感に合わせた切れ目のない支援が提供されなければなりません。すなわち、医療・介護・予防・生活支援・住まいの継続的で包括的なネットワーク、「地域包括ケアシステムづくり」を推進し確立していくことこそが重要な対策になるといえます。

認知症になっても外出してたのしく暮らしたい、地域での見守りネットワークをどのように実現していくのか、以下質問します。

1. 認知症サポーター養成講座、認知症フォローアップ研修の受講者にはその後の情報提供などを行い、受講で得た知識を地域で活用してもらえるような場づくりが必要と考えます。今後の取り組みを伺います。
2. 認知症の理解を深め、当事者の気持ちに配慮した声かけや見守りができるように、たとえば校区エリアで模擬訓練を行ってはどうでしょうか。ご見解を伺います。
3. 認知症コーディネーターの役割と実績、評価を伺い、今後の方向性をお示しくください。
4. 認知症対応については、デイサービスやグループホームだけでなく、小規模で柔軟に対応できる小規模多機能型居宅介護施設が適していると考えます。これからの地域密着型サービスの整備方針を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則題57条第2項により通告します。

2016年(平成28年)2月15日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 平野ひろみ

受付番号【 】 - (1 / 2)

整理番号(通しNo.) …… ()